

第3日 6月20日(水)

第1会場：安田講堂(ホール)

「脳研究シンポジウム」

(9:20-11:00)

「脳研究における Bio-monitoring system の現状と展望 - MS 分析の新たな視点 - 」

世話人：丸山悠司(群馬大医)

- 3-S1-01 脳内物質の死後変化とマイクロダイアリス法
(群馬大医)丸山悠司
- 3-S1-02 Bio monitoring of brain in intensive care unit (ICU) for the management of severe brain injured patients
(日大医)林成之
- 3-S1-03 マイクロダイアリス-MS/MS 法による薬物の高時間分解能分析法
(三共薬物動態研) 池田敏彦・小林信博
- 3-S1-04 Future Directions: Enhancement of Information and Decrease of Throughput Time Using Multiple Detection in Approaches Such as NEUBA.
(Univ. of Oklahoma, USA)
Diana Hamilton and LeRoy C. Blank

「特別講演」

(11:00-12:00) 座長：西村俊秀

- 3-特1 Proteomics: high-throughput protein analysis in the functional genomics era
(Proteome Systems Ltd., Australia) Marc R. Wilkins

「一般講演・口頭発表」

(13:00-14:20) 座長：中村健道

- 3-01-01 高処理能発現プロテオミクスのための一次元ポリアクリルアミドゲル電気泳動と二次元液体クロマトグラフィー：マウス脳の解析への適用
(1 グラクソ・スミスクライン・2 エーエムアール) 川上隆雄 1・碓井史彦 2・安養寺久栄 1・板東泰彦 2・西村俊秀 1
- 3-01-02 Nano LC-MS/MS 自動プロテオーム解析法における質量分析システムの要件 (1 グラクソ・スミスクライン・2 エーエムアール) 安養寺久栄 1・碓井史彦 2・川上隆雄 1・板東泰彦 2・西村俊秀 1
- 3-01-03 FT-ICRMS による IRMPD およびキャピラリースキマーCID と H-D 交換反応を用いたタンパク質-タンパク質相互作用部位解析 - rhIL-6 と抗 hIL-6 中和抗体の相互作用部位解析 - (味の素中央研) 山田尚之・鈴木榮一郎・平山和雄
- 3-01-04 ESI MS による酵素 - 基質結合過程の解析
H-D 交換による Lysozyme の基質認識能
(広島大院理) 須藤祥一・泉俊輔・平田敏文
- (14:20-16:40) 座長：荒川隆一・持田由幸
- 3-01-05 インターネット活用型質量スペクトルデータベース (1 日本アステック・2 岩崎学園情報科学専門学校・3 アイエヌジェイ) 六車裕孝 1・仲久保正人 2・前田浩五郎 3
- 3-01-06 FABMS 二重標識法による光学純度決定法 (1 阪市工研・2 阪大産研) 静間基博 1・今村浩之 2・山田等 2・高井嘉雄 2・武田徳司 1・高橋成年 2・澤田正實 2
- 3-01-07 FAB マススペクトロメトリーによる温度依存ホスト-ゲストキラル認識検出 (1 阪大産研・2 阪市工研) 山田等 1・静間基博 2・高井嘉雄 1・澤田正實 1
- 3-01-08 ESI-MS によるビスフェナントロリンジアミンルテニウム(II)錯体の光配位子置換反応の解析 (関西大工) 阿部一之・岩井正宣・福尾剛志・中林康雄・荒川隆一
- 3-01-09 C_3F_6 の関与する正及び負イオン/分子反応 (1 山梨大工 2 山梨県富士工技セ) 中川史之 1・水野貴之 1・飯野知之 1・陶山寛子 1・平岡賢三 1・高尾清利 2
- 3-01-10 Nano-LC を接続した Nano-ESI/MS による高分解能測定 (日本電子) 高橋豊・森田徹一郎・草井明彦
- 3-01-11 FAD, FMN およびリボフラビンの MALDI, FAB および ESI スペクトル - 生体における酸化還元との類似性 - (1 電通大・2 早大理工) 伊藤喜之 1・林明生 1・吉原淳郎 1・大橋陽子 1・浜江俊道 2・平野誉 1・牧昌次郎 1・丹羽治樹 1

第3日 6月20日(水)

第2会場：山上会館(A)

「TMSシンポジウム」

(9:20-17:30)

「地球環境とイオン化」

世話人：能美隆(能美防災)

(9:20-10:50)

3-S2-01 APIイオン化法の応用と小型化

(日本API) 溝上員章

3-S2-02 新しい低エネルギーイオン化法

(JEOL) 草井明彦

(13:00-17:30)

3-S2-03 軟質プラスチック製ワームからのフタル酸エステルの溶出

(水産大) 瀬尾亮平・栗山雄司・田畠健治・兼広春之・東海正

3-S2-04 高分子劣化と能動防御/生体防御反応に学ぶ

(芝浦工大) 武田邦彦

3-S2-05 発生気体分析 - 質量分析法のセラミックス原材料への応用

(産業技術総合研) 津越敬寿

3-S2-06 大気圧イオン化質量分析法による焼却排ガス中ダイオキシン前駆体の直接モニタリング

(日立製作所) 和気泉

3-S2-07 最新情報/環境分析機器はこれで良いのか

司会：菅原順一(伯東)

伯東(TG? MS用質量分析計)/島津(TG? GCMS)/パーキンエルマー(熱分析計)/ネッチ(スキマー型TG? MS)/アネルバ(ソフトイオン化質量分析計)リガク(昇温脱離装置)/JEOL(GCMS)/日本Waters(LCMS)/サーモクエスト(GCMS)/日本ベル(昇温脱離装置)/電子科学(昇温脱離装置)/ジャスコインターナショナル(GCMS)/メトラトレド(熱分析計)/アムコ(昇温脱離装置)/TAインスツルメンツ(熱分析計)/セイコーインスツルメンツ(熱分析計)/マックサイエンス(熱分析計)/ジーエルサイエンス(GC? MS)/ブルーカー/日立/日製産業他

第3会場：山上会館(B)

「宇宙地球シンポジウム」

(9:20-16:00)

「宇宙地球科学における新しい技術開発」

世話人：長尾敬介(東大院理)

(9:20-11:00)

3-S3-01 希ガス局所分析による宇宙・地球科学

(東大院理) 岡崎隆司

3-S3-02 宇宙地球科学分野における加速器質量分析(AMS)の現状と展望

(歴史民族博) 今村峯雄

3-S3-03 アイソトポマーの計測に向けた試み

(東工大) 吉田尚弘

(13:00-14:00)

3-S3-04 プラズマイオン源質量分析計による多元素同時分析

(東工大) 平田岳史

3-S3-05 広範な地球科学研究におけるSIMS

(産業技術総合研究所) 森下祐一・GSJ/SIMSグループ

(14:00-16:00)

3-S3-06 マルチコレクター二次イオン質量分析計(SIMS)の隕石試料への応用

(産業技術総合研究所) 木多紀子・森下祐一・富樫茂子

3-S3-07 暗黒星雲における物質進化：低温トンネル反応

(山梨大工) 平岡賢三・佐藤哲也・高山寿一・半田寛子・江内淳子

3-S3-08 遷移金属Cu、Znの同位体比分析

(1 東大院理・2 東工大理工) 浅田陽一・平田岳史2

3-S3-09 マルチターン飛行時間型質量分析計の性能評価 - 同位体比測定法・質量較正法の検討 -

(1 阪大院理・2 ウィーン大学) 奥村大輔1・豊田岐聡1・丸岡照幸2・石原盛男1・交久瀬五雄1

3-S3-10 隕石のレーザー局所希ガス分析

(東大院理) 海老澤紀子・長尾敬介

3-S3-11 宇宙塵の希ガス同位体分析の実際

(東大院理) 大澤崇人・長尾敬介

3-S3-12 総合討論

司会：兼岡一郎(東大地震研)